

2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社 上場取引所 東
コード番号 2752 URL https://fujigroup.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理本部長 (氏名) 仁田 英策 TEL 06-6360-0306
定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月30日
有価証券報告書提出予定日 2026年3月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	31,932	1.9	725	△40.4	596	△42.1	90	△80.3
2024年12月期	31,324	5.3	1,217	212.2	1,030	247.9	459	—

(注) 包括利益 2025年12月期 178百万円 (△64.6%) 2024年12月期 503百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	1.76	—	1.0	2.4	2.3
2024年12月期	10.03	—	9.2	4.4	3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 △0百万円 2024年12月期 11百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	24,429	8,685	35.5	169.30
2024年12月期	26,310	8,578	32.6	167.30

(参考) 自己資本 2025年12月期 8,679百万円 2024年12月期 8,572百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	980	△3,774	△2,007	7,616
2024年12月期	2,153	△732	4,892	12,418

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00	102	19.9	2.0
2025年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00	153	170.4	1.8
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		139.3	

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,156	3.1	210	△15.6	179	11.1	69	430.6	1.35
通期	32,653	2.3	510	△29.7	445	△25.2	110	22.3	2.15

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	51,267,537株	2024年12月期	51,241,921株
2025年12月期	74株	2024年12月期	74株
2025年12月期	51,257,497株	2024年12月期	45,776,244株

(参考) 個別業績の概要

2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	2,315	0.1	△199	—	121	△33.2	297	△43.8
2024年12月期	2,312	△0.3	108	△53.6	182	81.6	528	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	5.80	—
2024年12月期	11.55	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	23,296	11,523	49.5	224.77
2024年12月期	24,834	11,219	45.2	218.95

(参考) 自己資本 2025年12月期 11,523百万円 2024年12月期 11,219百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。次期の見通しについては、添付資料3ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績に関する分析	P. 2
(2) 財政状態に関する分析	P. 4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
連結損益計算書	P. 7
連結包括利益計算書	P. 8
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 13
(会計方針の変更)	P. 13
(セグメント情報等の注記)	P. 14
(1株当たり情報)	P. 17
(重要な後発事象)	P. 17

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

(当連結会計年度の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、アメリカの政策動向や地政学的リスク、物価上昇による消費者マインドの低下等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、人流の回復やインバウンド消費の拡大等により堅調な需要が続いているものの、食材やエネルギー価格、人件費の上昇等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業になる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした既存中核業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上のような結果、当連結会計年度の業績は、売上高319億32百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益7億25百万円（前年同期比40.4%減）、経常利益5億96百万円（前年同期比42.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円（前年同比80.3%減）となりました。

また、当社グループ全体で当連結会計年度における新規出店数は20店舗（国内直営店16店舗、国内F C店3店舗、海外F C店1店舗）、当連結会計年度末の店舗数は702店舗（国内直営店393店舗、国内委託店80店舗、国内F C店205店舗、海外直営店5店舗、海外F C店19店舗）となりました。

ブランド別の店舗数は以下のとおりあります。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	委託店 (国内)	F C店 (国内)	F C店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	81	2	25	156	7	271
神楽食堂 串家物語	72	-	4	24	2	102
麺乃庄 つるまる	32	-	14	10	7	63
さち福や	35	-	2	6	2	45
天麩羅 えびのや	29	3	2	3	1	38
その他	144	-	33	6	-	183
合計	393	5	80	205	19	702

事業別の業績は次のとおりであります。

①まいどおおきに食堂事業

「まいどおおきに食堂」は、家庭で親しまれる日常食である和食を中心にセルフサービス方式で提供しており、幅広い顧客層の支持を得ております。また、商品の見直しや調理指導の強化、既存店舗の改装、店舗内経費の効率的な削減等により、既存店舗の収益力の向上を図り、立地に応じた最適な店舗運営に努めてまいりました。

以上の結果、直営部門の売上高は、51億60百万円となりました。

②神楽食堂 串家物語事業

「神楽食堂 串家物語」は、お客様自身が自由に串メニューを各テーブルで揚げて頂くビュッフェスタイルのお店です。串揚げとして数十種類の素材の他にサイドメニューとしてサラダや点心、ごはん類、フルーツ、デザート等をセルフサービス形式で提供しております。季節毎のフェアに加え、ハロウィンやバレンタイン限定の商品提供やSNS・メディア露出・コラボ企画等を用いた集客施策を実施いたしました。

以上の結果、直営部門の売上高は76億12百万円となりました。

③麺乃庄 つるまる事業

「つるまる」は、あっさりとした関西風のうどんに、色々な種類の天ぷらをお客様自身が自由にトッピングして頂く低価格うどん業態です。オフィス街を中心とした低価格のうどんをご提供させていただく「麺乃庄つるまる 鯉鮎」、店内で製麺したうどんをご提供させて頂く「鶴丸鯉鮎本舗」を展開し、幅広いお客様層から変わらぬご支援を頂いております。新商品の投入による集客施策や原材料高騰分を価格に反映し収益力の改善を行いました。

以上の結果、直営部門の売上高は16億94百万円となりました。

④さち福や事業

「さち福や」は、『日常食をちょっと贅沢に』をコンセプトに、釜焚きご飯と季節の野菜や魚、日替わり小鉢などを取り揃えた和洋定食を提供しております。商品の見直しにより原価率を適正にコントロールするとともに、モバイルオーダー方式の活用によりお客様の利便性向上と運営の効率化を図りました。

以上の結果、直営部門の売上高は33億54百万円となりました。

⑤天麩羅 えびのや事業

「天麩羅 えびのや」は、目の前で揚げる出来立ての天ぷらをお手軽に楽しめる天ぷら専門店です。旬の素材を天ぷらにし、カツオと醤油が香る特製天つゆで炊き立てご飯と一緒に召し上がりいただけます。ご好評頂いている明太子食べ放題店舗の拡充により集客力向上を図るとともに、適正人員の配置による管理体制の強化に取り組みました。

以上の結果、直営部門の売上高は21億8百万円となりました。

⑥その他ブランド事業

「その他ブランド事業」につきましては、季節のフルーツをふんだんに使った手作りタルトの専門店「タルト&カフェ デリス」、沖縄で50年愛されているステーキ&シーフードレストラン「サムズ」、日本の古き良き文化を伝える喫茶店であり地域の食卓・憩いの場を提供する「喫茶店 ピノキオ」等を展開しております。季節フェアキャンペーンの推進やSNS等を活用したブランド認知度の向上、商品開発の強化等を実施し、各ブランドの業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、直営部門の売上高は104億11百万円となりました。

⑦FC事業

FC事業につきましては、フランチャイズ加盟企業様・社員独立による営業委託者様とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出しと解消を図り、さらなる集客と売上の向上を目指しております。

当事業では、フランチャイズ加盟開発の強化、現在の環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。

更なる事業規模拡大に向け、直営店のフランチャイズへの売却や営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は15億90百万円となりました。

(次期の見通し)

今後のわが国経済及び外食産業においては、雇用や所得環境の改善等により緩やかな回復基調が見込まれる一方で、物価上昇による消費者マインドの低下等に加え、アメリカの政策動向や地政学的リスク等、依然として先行き不透明な状況が続くことが想定されます。

当社グループにおきましては、このような厳しい経済環境の中でも確実に収益を確保するべく、国内におきましては「まいどおおきに食堂」を中心とした既存店舗の改装による収益力の向上や管理体制の強化を目指し、海外におきましてはフランチャイズを中心とした着実な展開を目指してまいります。

次期の業績につきましては、連結売上高326億53百万円、連結営業利益5億10百万円、連結経常利益4億45百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億10百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して18億81百万円減少し244億29百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から18億77百万円減少し、固定資産は3百万円減少しております。流動資産が減少した主な内訳は、現金及び預金の減少47億56百万円、信託受益権の増加27億によるものであります。固定資産が減少した主な内訳は、有形固定資産の増加70百万円、のれんの減少97百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して19億87百万円減少し157億44百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少18億80百万円、未払法人税等の減少2億1百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の計上、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行等により、前連結会計年度末と比較して1億6百万円増加し86億85百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は76億16百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は9億80百万円の収入（前年同期は21億53百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益2億33百万円、非現金支出である減価償却費5億55百万円、のれん償却額97百万円、減損損失4億36百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は37億74百万円の支出（前年同期は7億32百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億64百万円、固定資産の除却による支出1億40百万円、信託受益権の取得による支出69億円に対し信託受益権の償還による収入42億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は20億7百万円の支出（前年同期は48億92百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入による収入37億円に対し長期借入金の返済による支出55億80百万円であります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
	期末	期末	期末	期末
自己資本比率 (%)	2.6	7.0	32.6	35.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	276.8	314.7	227.3	238.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	17.5	7.1	5.0	9.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	8.0	20.7	14.3	5.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

※営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額を使用しております。また、有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つと認識しており、収益力の向上と財務体質の改善を図りながら業績に応じた機動的な配当及び利益還元を行うことを基本方針としております。

業績及び内部留保の充実性を総合的に勘案し配当額を決定するとともに、将来の更なる事業拡大のための投資を行っております。

上記方針に基づき、当連結会計年度末の配当につきましては1株当たり3円を予定しております。

また、次期の配当につきましては、1株当たり3円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,738	7,981
売掛金	634	655
棚卸資産	194	196
前払費用	266	262
未収入金	150	200
信託受益権	-	2,700
預け金	1,274	1,353
その他	71	103
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,328	13,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,546	3,510
工具、器具及び備品（純額）	203	290
土地	740	740
建設仮勘定	26	58
その他（純額）	81	69
有形固定資産合計	4,598	4,669
無形固定資産		
のれん	1,269	1,171
その他	29	53
無形固定資産合計	1,298	1,225
投資その他の資産		
投資有価証券	343	417
関係会社株式	165	160
繰延税金資産	10	35
敷金及び保証金	3,525	3,441
その他	1,210	1,220
貸倒引当金	△169	△190
投資その他の資産合計	5,085	5,085
固定資産合計	10,982	10,979
資産合計	26,310	24,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,558	1,611
1年内返済予定の長期借入金	1,510	3,570
未払金	1,492	1,480
未払費用	589	612
未払法人税等	289	87
未払消費税等	256	208
株主優待引当金	444	500
賞与引当金	19	3
資産除去債務	20	22
その他	377	383
流動負債合計	6,557	8,483
固定負債		
長期借入金	9,141	5,200
リース債務	59	64
資産除去債務	1,075	1,082
預り保証金	213	222
繰延税金負債	137	173
持分法適用に伴う負債	500	492
債務保証損失引当金	34	18
その他	14	5
固定負債合計	11,174	7,261
負債合計	17,732	15,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,956	5,971
資本剰余金	6,661	5,149
利益剰余金	△4,151	△2,636
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,466	8,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	106
為替換算調整勘定	78	87
その他の包括利益累計額合計	106	194
非支配株主持分	6	6
純資産合計	8,578	8,685
負債純資産合計	26,310	24,429

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	31,324	31,932
売上原価	10,976	11,310
売上総利益	20,347	20,622
販売費及び一般管理費	19,130	19,896
営業利益	1,217	725
営業外収益		
受取利息	5	15
受取配当金	7	15
持分法による投資利益	11	-
受取補償金	-	16
債務保証損失引当金戻入額	-	15
その他	71	77
営業外収益合計	96	140
営業外費用		
支払利息	150	183
支払手数料	87	8
貸倒引当金繰入額	-	29
持分法による投資損失	-	0
その他	44	48
営業外費用合計	283	270
経常利益	1,030	596
特別利益		
固定資産売却益	4	2
受取立退料	79	47
固定資産受贈益	-	26
投資有価証券売却益	3	35
特別利益合計	87	111
特別損失		
店舗解約損	41	33
固定資産除却損	0	4
減損損失	420	436
特別損失合計	462	474
税金等調整前当期純利益	655	233
法人税、住民税及び事業税	196	170
法人税等調整額	△1	△26
法人税等合計	194	143
当期純利益	460	90
非支配株主に帰属する当期純利益	1	0
親会社株主に帰属する当期純利益	459	90

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	460	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	78
為替換算調整勘定	16	7
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	42	88
包括利益	503	178
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	502	178
非支配株主に係る包括利益	1	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,627	3,332	△4,610	△0	1,348
当期変動額					
新株の発行	3,329	3,329	-	-	6,658
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	459	-	459
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	3,329	3,329	459	-	7,117
当期末残高	5,956	6,661	△4,151	△0	8,466

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	3	60	63	15	4	1,432
当期変動額						
新株の発行	-	-	-	-	-	6,658
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	459
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	24	18	42	△15	1	28
当期変動額合計	24	18	42	△15	1	7,146
当期末残高	27	78	106	-	6	8,578

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,956	6,661	△4,151	△0	8,466
当期変動額					
新株の発行	15	15	-	-	30
剰余金(その他資本剰余金)の配当	-	△102	-	-	△102
欠損填補	-	△1,424	1,424	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	90	-	90
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	15	△1,511	1,515	-	18
当期末残高	5,971	5,149	△2,636	△0	8,484

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	27	78	106	-	6	8,578
当期変動額						
新株の発行	-	-	-	-	-	30
剰余金(その他資本剰余金)の配当	-	-	-	-	-	△102
欠損填補	-	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	90
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	78	9	88	-	△0	88
当期変動額合計	78	9	88	-	△0	106
当期末残高	106	87	194	-	6	8,685

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	655	233
減価償却費	552	555
のれん償却額	97	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	△15
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	144	56
受取利息及び受取配当金	△12	△31
支払利息	150	183
店舗解約損	41	33
減損損失	420	436
固定資産除却損	0	4
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△2
固定資産受贈益	-	△26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	△35
為替差損益 (△は益)	△6	0
持分法による投資損益 (△は益)	△11	0
支払手数料	87	8
株式報酬費用	13	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△66	△20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26	△1
仕入債務の増減額 (△は減少)	134	53
預け金の増減額 (△は増加)	13	△79
未収入金の増減額 (△は増加)	△82	△32
未払金の増減額 (△は減少)	77	△9
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△124	△47
その他	137	66
小計	2,192	1,475
利息及び配当金の受取額	12	31
利息の支払額	△150	△186
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	98	△340
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,153	980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△2,197
有価証券の売却による収入	-	2,200
定期預金の預入による支出	△338	△372
定期預金の払戻による収入	314	334
有形固定資産の取得による支出	△678	△964
固定資産の除却による支出	△163	△140
関係会社株式の取得による支出	△30	-
有形固定資産の売却による収入	5	4
投資有価証券の売却による収入	96	57
貸付けによる支出	-	△15
貸付金の回収による収入	5	9
信託受益権の取得による支出	-	△6,900
信託受益権の償還による収入	-	4,200
敷金及び保証金の差入による支出	△26	△36
敷金及び保証金の回収による収入	178	116
その他	△96	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732	△3,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,500	-
長期借入れによる収入	3,425	3,700
長期借入金の返済による支出	△1,625	△5,580
株式の発行による収入	6,619	-
配当金の支払額	△0	△102
リース債務の返済による支出	△26	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,892	△2,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,324	△4,802
現金及び現金同等物の期首残高	6,094	12,418
現金及び現金同等物の期末残高	12,418	7,616

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日開催の第26回定時株主総会決議により、資本準備金を1,692百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,424百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営管理目的により、事業形態に基づいて複数の事業単位に組織化されており、「直営事業」及び「F C事業」の2つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麺乃庄 つるまる」等の運営を行っております。「F C事業」は、主に加盟店の経営指導等の事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	直営事業	F C事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
売上高					
まいどおおきに食堂	5,158	—	5,158	—	5,158
神楽食堂 串家物語	7,474	—	7,474	—	7,474
麺乃庄 つるまる	1,292	—	1,292	—	1,292
さち福や	3,229	—	3,229	—	3,229
天麩羅 えびのや	2,106	—	2,106	—	2,106
その他	10,410	—	10,410	—	10,410
F C加盟金売上	—	164	164	—	164
F Cロイヤリティ売上	—	725	725	—	725
F Cイニシャル売上	—	107	107	—	107
F Cランニング売上	—	654	654	—	654
顧客との契約から生じる収益	29,672	1,651	31,324	—	31,324
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	29,672	1,651	31,324	—	31,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,672	1,651	31,324	—	31,324
セグメント利益	3,091	1,117	4,208	△2,991	1,217
セグメント資産	9,741	678	10,419	15,891	26,310
その他の項目					
減価償却費	477	—	477	75	552
のれんの償却額	97	—	97	—	97
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	683	33	717	18	735

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,991百万円は、各報告セグメントに含まれない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額15,891百万円は、各報告セグメントに分配していない全社資産であり、主に本社の管理部門に係る資産等であります。

3. 減価償却費の調整額75百万円は、全社資産に係る減価償却費であります。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額18百万円は全社資産の増加額であります。

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:百万円)

	直営事業	F C事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
売上高					
まいどおおきに食堂	5,160	—	5,160	—	5,160
神楽食堂 串家物語	7,612	—	7,612	—	7,612
麵乃庄 つるまる	1,694	—	1,694	—	1,694
さち福や	3,354	—	3,354	—	3,354
天麩羅 えびのや	2,108	—	2,108	—	2,108
その他	10,411	—	10,411	—	10,411
F C加盟金売上	—	173	173	—	173
F Cロイヤリティ売上	—	761	761	—	761
F Cイニシャル売上	—	107	107	—	107
F Cランニング売上	—	548	548	—	548
顧客との契約から生じる収益	30,341	1,590	31,932	—	31,932
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	30,341	1,590	31,932	—	31,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,341	1,590	31,932	—	31,932
セグメント利益	3,019	1,151	4,170	△3,444	725
セグメント資産	9,868	452	10,320	14,109	24,429
その他の項目					
減価償却費	478	1	479	75	555
のれんの償却額	97	—	97	—	97
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	912	37	949	66	1,016

- (注) 1. セグメント利益の調整額△3,444百万円は、各報告セグメントに含まれない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額14,109百万円は、各報告セグメントに分配していない全社資産であり、主に本社の管理部門に係る資産等であります。
3. 減価償却費の調整額75百万円は、全社資産に係る減価償却費であります。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額66百万円は全社資産の増加額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高が10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高が10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	直営事業	F C 事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	420	—	420	—	420

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	直営事業	F C 事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	428	7	436	—	436

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	直営事業	F C 事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	97	—	97	—	97
当期末残高	1,269	—	1,269	—	1,269

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	直営事業	F C 事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	97	—	97	—	97
当期末残高	1,171	—	1,171	—	1,171

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額 167 円 30 銭	1株当たり純資産額 169 円 30 銭

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益 10 円 03 銭	1株当たり当期純利益 1 円 76 銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	459	90
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	459	90
普通株式の期中平均株式数 (株)	45,776,244	51,257,497

(重要な後発事象)

該当事項はありません。